

埼玉県作業療法士会 広報誌

彩り

冬号

2021



- 特集「認知症地域支援推進部の今だから伝えたいこと！」
 - ねえ、きいて！「急性期病院で働く中で」
 - 私の声「作業療法と目指すもの」
- No.02**

新年のご挨拶

旧年中は埼玉県作業療法士会の活動に、多くのご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます
本年も埼玉県作業療法士会は皆様の健康を支える活動を続けてまいります
この災禍の一日も早い終息を願うとともに、皆様にとって幸多き一年になりますようご祈念
申し上げます

令和3年1月 一般社団法人埼玉県作業療法士会

一作業療法に関わる全ての人たちの魅力を伝える情報誌一

今だから 伝えたいこと!

認知症は今や誰もが関わる可能性のある身近な病気となりました。そして、認知症になっても住み慣れた地域で自分らしく豊かな暮らしが続けられるように様々な「地域支援」のかたちが生まれています。埼玉県作業療法士会では、どのような「地域支援」がおこなわれているのでしょうか？今回、認知症地域支援推進部にお話を伺いました！

1 認知症地域支援推進部では、どんな認知症支援を行っていますか？

地域住民の方や行政・専門職のみなさんと協力してオレンジカフェの立ち上げや運営をはじめ、認知症関連イベントでの啓蒙活動、「認知症の人と家族の会」と協業で若年のつどいを開催し当事者や家族のサポートなどをおこなっており、作業療法士の本領を発揮しています！ほかにも当事者、作業療法士、多職種の人たちで結成した「これでいいのだバンド」でバンド活動もしていて、『支援』という枠にとらわれず幅広く活動しています。



2 バンド活動などユニークな取り組みをされていますが、その発想はどこからくるのでしょうか？

バンド活動においては地域支援活動を行うなかで自然発生的にできたものです。認知症を発症してからオカリナをはじめた当事者の方とギターを持参していたOT（宇田会長）がたまたまセッションしたことがきっかけです。そして徐々に楽器を持った仲間が集まり『これでいいのだバンド』が結成されました。

きっかけは些細なもので、一緒に楽しみたい、楽しんでほしい、喜んでほしい...そういった気持ちから自然と生まれてきているように感じます。奇想天外なことでも、それを形にしてしまうのがOTのすごいところかもしれません。なにか1つのことを一緒にやり遂げることは達成感も大きく、とてもやりがいがあります。



▲出演依頼殺到中の「これでいいのだバンド」。気になる方はYouTubeでPR動画をどうぞ!!

3 認知症のご本人やご家族さまとの関わり、地域活動のなかで、 どんなことを感じますか？

様々な地域での活動を通して、「支援」より「一緒に」を学びました。まさに『共生社会』であり、これをご本人やご家族がのぞまれていることなんだなと感じました。当事者のやりたいという気持ちを動かし、行動にうつし、生き活かし、それをみた家族の気持ちが満たされる。まさに作業活動で「心が生きる」を体験しました。

「認知症＝病気で何にもできなくなるとか、助けてあげなきゃ、というイメージが強いかもしれませんが、認知症のご本人もできることはたくさんあるし、やりたいこともたくさんある。」と、当事者の方がおっしゃっていたのがすごく印象的でした。医療職として、**何かしてあげなきゃという気持ちが強くなっていましたが、ご本人が望んでいるのはそうではなかったのかな、**と気づきました。

認知症のご本人と関わっていると自信のない方が多いように感じます。**自分が関わることで「できた！」「できる！」と感じていただきたいと思っています。**ご家族様とは、もっと関係性を築く機会が欲しいと思います。また、同じ介護者の方とお話することで、共感してもらったり、鬱憤が晴れたり、肩の力が抜けたりして、ご本人と良い関係が続けられるのではないかと思います。

4 最後に、「今だから伝えたい」ことはなんですか？

今はみんなで集まっての活動は制限されていますが、改めて『人と人のつながり』はとてつもなく大きなモノだと気づかされました。そして、「普通に」「自然に」楽しむ毎日、朝起きて少しでも気分が良い毎日が大切であり、これを作業療法士なら実現できることをこの地域活動で皆さんに教えていただきました。みなさんをつないでできたこの縁を今後も大事にしていきたいです。そのためにも、今だからこその新しい地域活動のカタチをつくっていきたいと思います。これからもみなさまと一緒にたくさんのハッピーをつくっていきたいです！





「急性期病院で働く中で」

～私が心がけていること～

- 報告者 -

埼玉医科大学総合医療センター
作業療法士 大川 航洋さん

埼玉医科大学総合医療センターはベッド数 1,053 床の総合病院です。私は OT 脳神経外科チームでリーダーとして働いています。当院の脳神経外科は年間手術件数が 500 件を超え、高度な医療が必要とされる重症な方から数日で自宅退院される方もいます。

早期離床や関節可動域練習など理学療法士と同様のプログラムを行うことも多く、作業療法士の立場に疑問を感じた時期もありましたが、数ヶ月経って意識が戻った患者さまがなんとかトイレまで行くことができた時に、急性期から活動の視点で介入していて良かったと感じます。また早期に退院される方には仕事や家事への復帰に支障がないか、身体機能面や高次脳機能面、社会面など様々な評価を限られた期間の中で行う必要があります。その中でも、急な入院で不安を感じている方への心理的サポートや、大切にしている活動・趣味の話、何気ない雑談などホッとできる時間を提供できるよう心がけています。



わたしが
大川 OT です！

▶ **趣味：**

スキー (SAJ1 級:元アルペンスキー)
星景写真

▶ **好きな音楽：**

70 年代フォークソング (特にさだまさし)
ジャパニーズレゲエ

▶ **好きな人物：**武者小路実篤、木村昌福

▶ **座右の銘：**

人を見下す人は人から見下される人
人を尊敬する人は人から尊敬される人

▶ **最後にひとこと：**

『自分らしさ』を取り戻す最初の一步をお手伝いします。



私の声

—作業療法体験談—

「作業療法と目指すもの」さいたま市 Mさん

今イラストを描くことが生きがいです。高校生の頃から試験勉強の合間に勉強そっちのけで書き始めました。当時、水森亜土さんの絵のタッチや、いわさきちひろさんの色使いに憧れて、オリジナルのイラストを書き始めました。大学に行くと演劇に夢中になり、就職し、転職し、30歳で演劇の道に進むことになりました。そんな節目節目の手紙にイラストを添えて。結婚して子供ができると、演劇を中断し、子供の成長に合わせてLINEのスタンプを押すようにイラストを描きました。子供が自立し、ようやく集中して演劇に取り組もうと思っていたら身体を壊してしまいました。今はイラストを描くことがとても楽しみです。痛みや不安を忘れてしまいます。イラストを書き終えて、相手の喜ぶ顔を見たとき、一つの舞台の幕が下りたときのような達成感を感じます。

LINE スタンプは
コチラ!!



クリックでジャンプ



作業療法スタンプも
作成しました!!



クリックでジャンプ

プロデューサー
西部総合病院
訪問リハビリ OT近森

OT ギャラリー

—みんなの作品展—

表紙



タイトル

『菊と川の流れるように』

(狭山市)

とても繊細で美しい刺繍
です！一針、一針、心を
込めて仕上げられた作品
だと感じました♪



タイトル：いちご
(越谷市)

作業療法士が参加している
子供食堂で制作した作品だ
そうです！身近にある物で
簡単に作れるけん玉です♪

Thank
you!!



タイトル：健康けん玉「キャップけん玉」
(チームスコップちかちゃんより)

埼玉県作業療法士会ってどんなトコ? おしえて!! SAOT

今回のテーマ
「部局・委員会について
教えて!! 第2弾」

職能開発事業部

①なにをする部・委員会ですか?

埼玉県内の作業療法士の新たな事業を開発・援助する部で、これまで「子ども支援委員会」「こころとくらし支援委員会」の誕生にかかわり、現在は臨床実習指導者講習会の運営を行っています。

②メンバーはどれくらいいますか?

理事・部長：鈴木です。委員：岡部、磯、趙、岡本（東京家政大学）、水村（埼玉医科大学国際医療センター）の以上6名ですが、その他新たに何かが始まる時にさまざまな人が出入りします。2020年現在は伊藤伸副会長、大橋幸子事務局長と一緒に活動しています。

③アピールポイントは?

なにもないところから創るという、ものすごく創造的な部署です。

④最後になにか一言!!

部署の活動が最終的には作業療法士がかかわる全ての方の利益につながることを願っています。

第30回埼玉県作業療法学会事務局

①なにをする部・委員会ですか?

2021年度開催予定の第30回埼玉県作業療法学会の開催に向けて、ホームページの構築、学会ポスターの作成、開催プログラムの企画といった県学会開催全般の運営を行っています。

②メンバーはどれくらいいますか?

学会長1名、事務局長兼実行委員長1名、部員8名の合計10名で活動しています。

③アピールポイントは?

県学会用のホームページを構築し、皆様に新しい情報をいち早くお届けできる点と、一般演題では、学会長賞演題と特別賞演題を選出し、表彰を行う点です。

④最後になにか一言!!

県学会は県内のOTが交流できる場です。新しい知見や情報を手に入れるだけでなく、臨床での悩みや心配も解決できるかもしれません。多くの情報や知識、技術を持っていることで患者さんの可能性も広がりますので、是非お気軽にご参加ください!

— 作業療法クイズ —

Q1. 作業療法っていつ頃から始まったの?

答え：紀元前4～3世紀

ヒポクラテスが始まりとされています。実は2000年以上前から「作業」が治療的な意味合いをもって用いられていました。

Q2. 日本で最初の作業療法士が生まれたのはいつ?

答え：1966年（昭和41年）

1966年の第1回国家試験では20名の作業療法士が誕生しました。その当時、教員は外国人で授業は英語で行われていました！相当な苦勞の末に作業療法士になったと聞きます。

Q3. 2020年時点の日本の作業療法士の人数はどれくらい?

答え：約94,000人

第1回国家試験で誕生した作業療法士は、半世紀が過ぎて約4,700倍にまで増えました!



わたしが
ヒポクラテスです



Breaktime

編集後記



生方

最近のマイブームはひとり自転車でぶらつくことです。密にならずに楽しめます。自宅そばの荒川の河川敷から、上州、奥秩父、奥多摩、丹沢…遠くの山を見て、いつかあの山の向こうに行こう、行けるようにあともう少し我慢しようと思います。

最近、幼稚園児の娘に『お父さんみたいに仕事したいからパソコンが欲しい』と言われました。作業の楽しさが伝わった喜びと、家族や仲間や当事者の方々に支えられている事を感じました。広報誌の二歩目が歩めて嬉しいです！今後も様々な作業の輪が広がりますように。



近森



石井

世はコロナ禍で満足に外出できない毎日ですが、ステイホームならではの楽しみを探しています。今は自室でテントを建てる『室内キャンプ』を計画中。まずはテント探しから…。やっぱりどんな状況でも楽しむことは忘れません！

先日、甥っ子が産まれました。たった数時間、抱っこやミルクをあげただけでしたが全身びっくりするほど疲労感が…。子育てって大変だなあ、私を育ててくれた親には感謝だなあ、お風呂に浸かりながらしみじみと思いました。



大川

みなさんの投稿お待ちしております！

★ 各コーナーの募集要項 ★

●ねえ、きいて！（作業療法実録）

作業療法士がみなさんに送る、「わたしはこんな作業療法をやってるよ！」というお話を募集しています。

●私の声（作業療法体験談）

今でも昔でも、あなたの作業療法の思い出を聞かせてください。きっと、それは誰かの励みや喜びになるでしょう。

●OT ギャラリー（作品投稿コーナー）

作業療法の中で制作した作品、趣味で作った作品…あなたの『自慢の一品』を大募集！表紙に選ばれるかも！？

《投稿フォームで応募！》

QRL または URL から投稿フォームにアクセス！必要事項を入力しご応募ください。

【 <https://business.form-mailer.jp/fms/b631815e129531> 】

※投稿フォームで応募後、広報部よりメールにてお返事させていただきます。

《お問い合わせ》

投稿をはじめ、広報誌に関してなにかございましたら、

埼玉県作業療法士会 広報部専用メール【saitama.ot.kouhou@gmail.com】まで！



▼次回、春号は4月発行です。おたのしみに！